

滋賀ロケーションオフィス NEWS 第17号

平成22年9月10日発行

Shiga Location Office News

発行:滋賀ロケーションオフィス

〒520-8577

滋賀県大津市京町四丁目1番1号

滋賀県商工観光労働部観光交流局内

TEL:077-528-3745 FAX:077-527-7329

E-mail:info@shiga-location.jp

URL:http://www.shiga-location.jp

サポーター登録者数 2,129人
(平成22年8月末現在)

将軍は女、仕えるは美しき男たち三千人 男女逆転「大奥」 10月1日全国ロードショー

大奥

原作 よしながふみ
監督 金子文紀(「木更津キャッツアイ」シリーズ)
脚本 高橋ナツコ
出演者 二宮和也、柴咲コウ、堀北真希、玉木宏(特別出演)

ストーリー

男だけを襲う謎の疫病が席卷した江戸、徳川の時代。日本は、多くの男が死に至り、その数、実に女の4分の1に減少していた。全ての重要な仕事を女が占め、男が体を売る男女逆転の浮世。そんな世で最も贅沢を尽くした場所。それは、1人の女将軍に、3,000人の美しき男たちが仕える女人禁制の男の園、大奥だった。そしていま、一人の若き侍が、その扉を開けようとしていた。



©2010男女逆転「大奥」製作委員会

Pick Up 滋賀県でのロケ風景

油日神社



ロケコメント

©2010男女逆転「大奥」製作委員会

油日神社での撮影が映画「大奥」のクランクインとなり、製作委員会のVIPが集まる中で撮影は始まりました。このクランクインの様子は各種マスコミでも映像が流れましたので見られた方も多かったのではないのでしょうか。

ロケは4月でしたが、真冬のような寒さで、火を焚きながらの撮影となりました。映画が夏の設定だったので、二宮さんも堀北さんも薄着の衣装で寒さに負けずに頑張っていました。ロケは2日間行いましたが、2日目には噂が広まり想像を超えるギャラリーの数でした。

油日神社は檜皮葺で落ち着いた雰囲気、身分違いの水野(二宮和也)とお信(堀北真希)が周りを気にしながら会うイメージに合致したため、撮影に至りました。映画を見られた後、二人の切ないシーンが撮影された油日神社を訪れてみてはいかがでしょうか。

三井寺



ロケコメント

三井寺では2つのシーンが撮影されています。一つは参道で、水野の住む武家屋敷とお信の住む町人屋敷を結ぶ町中の道という設定で、三井寺のメインストリートで撮影しました。もう一つはクライマックスの感動的な墓場での二人の再会シーンで、三井寺の西国十四番札所となっている観音堂の上の丘で撮影しています。

2日間撮影しましたが、1日目は快晴に悩まされ、ひたすら「曇り」待ち。ワンカットの撮影に待つこと数十分もざらでした。2日目は逆に雨に悩まされ、にわか雨に度々撮影が中断するなど、天候に悩まされたロケでしたが無事に終了しました。

クライマックスの墓場のシーンでは、現実の撮影は琵琶湖を望む高台の美しいロケーションですが、映画ではCGにより眼下に江戸の街が広がっています。皆さん是非一度ロケ地に立ってみて、映画と重ね合わせてみて下さい。

今、時代劇映画が熱い!!

話題の時代劇映画も滋賀ロケが支援!!

今年の秋から冬にかけて時代劇映画が次々と公開予定です。滋賀ロケも5本支援しました。

戦国ブームも手伝って、今、時代劇映画が非常に熱い!!

十三人の刺客

平成22年9月25日(土)全国ロードショー

監督 三池崇史(「クローズZERO」シリーズ)

出演者 役所広司、山田孝之、伊勢谷友介、沢村一樹、古田新太、高岡蒼甫、六角精児、波岡一喜、近藤公園、石垣佑磨、窪田正孝、伊原剛志、松方弘樹、松本幸四郎、稲垣吾郎、市村正親

ストーリー

島田新左衛門(役所広司)の下に集められた13人の刺客は天下万民のため、罪なき民衆に不条理な殺戮を繰り返し、幕府の権力を我が物にしようとする史上最凶の暴君・松平斉韶(稲垣吾郎)に一世一代の戦いを挑む。13人対300人超の決戦の行方は…!!

ロケコメント

主人公である島田新左衛門(役所広司)が釣りをするシーンを柳川キャンプ場湖岸(彦根市)で撮影していただきました。琵琶湖の中での撮影ということもあり、初夏というものの水温はそんなに高くない中で、スタッフが腰まで水につかって足場を組んだり機材をかついだりされていました。改めてスタッフの映画にかける情熱を見せていただきました。



©2010「十三人の刺客」製作委員会



武士の家計簿

平成22年12月4日(土)全国ロードショー

監督 森田芳光(「阿修羅のごとく」)

出演者 堺雅人、仲間由紀恵、松坂慶子、西村雅彦、草笛光子、中村雅俊

ストーリー

幕末から明治へ、世の中の秩序も価値観も大きく変わっていく時代の中、刀ではなくそろばんを持ち、算用者(会計係)として加賀藩・前田家に仕えた猪山家。どんな困難にあおうとも、家族でしっかりと支えあい、そろばんで生き抜いていく一家。本当の豊かさを教えてくれる温かな感動作です。

ロケコメント

ロケハンで森田監督を八幡堀と大津市千野の田園にお連れしたところ、滋賀県の美しい風景を大変気に入っていただき、ロケに至りました。千野の田園では、百姓が松明を持って一揆に向かうシーンなどのロケがありました。ロケ当日は年末の雪が降るとも寒い中で、さらにナイトシーンという過酷な条件でしたが、こどもさんを含めた滋賀ロケの約70人のエキストラさんに熱演いただきました。



©2010「武士の家計簿」製作委員会



最後の忠臣蔵

平成22年12月18日(土)全国ロードショー

監督 杉田成道(「北の国から」)

出演者 役所広司、佐藤浩市、桜庭ななみ、山本耕史、風吹ジュン、田中邦衛、伊武雅刀、笈田ヨシ、安田成美、片岡仁左衛門(特別出演)

ストーリー

誰もが知る「忠臣蔵」の、誰も知らない「二人の生き残り」。大石内蔵助以下、赤穂浪士四十七名による討入りの後、特別の使命を与えられた二人の生き残りがいた。それは「生きる」という過酷な使命。討入りから16年、死ぬことを許されなかった男達の圧倒的感動の物語。

ロケコメント

ロケ地は八幡堀、五個荘金堂地区、教林坊。特に教林坊は映画のイメージとなっている竹林のロケーションを使った撮影が行われました。設定は主人公の瀬尾孫左衛門(役所広司)と可音(桜庭ななみ)が密かに暮らす屋敷。教林坊の竹林のイメージが切ない情景にぴったりとはまっています。五個荘では、昨年末にみぞれが降る中で嫁入り行列の撮影を行い、滋賀ロケのエキストラさんは素足で凍傷一歩手前の状況の中でがんばっていただきました。とにかくこの映画は涙なしでは見られません。



©2010「最後の忠臣蔵」製作委員会



「滋賀ロケ」支援のドラマ、TV番組

15歳の志願兵

平成22年8月15日(日)にNHK総合で放送されました。出演者は池松壮亮、高橋克典、大賀、鈴木砂羽、夏川結衣、竜雷太ほか。

ロケ地は豊郷小学校旧校舎群(豊郷町)、五個荘金堂地区(東近江市)、鎌掛スポーツ広場(日野町)、今津沖・百瀬川河口(高島市)で延べ7日間撮影が行われました。

五個荘金堂地区では志願兵を送り出すパレードのシーンの撮影がありました。早朝6時の集合にもかかわらず滋賀ロケのエキストラさん約100人にご参加いただき、モンペや国民服、着物に着替えて、志願兵を送り出す父兄役として名演技をしてくださいました。今津沖、百瀬川河口では主人公が所属するボート部の練習シーンの撮影があり、役者さんのボート練習の指導や、ボートを漕ぐエキストラ役として、地元高島高校のボート部員さんにご協力いただきました。ボートを漕ぐシーンは、宣伝ポスターやチラシにも大きく使われ、出演いただいたボート部員さんも一生の思い出になったと思います。

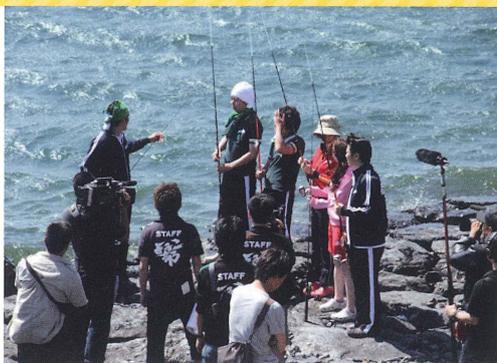


よるこ部

平成22年4月27日(火)、5月4日(火)ほか5日間にわたってTBS系列で放送されました。出演者はよるこ、ほか。

バラエティ番組「よるこ部」ではいろんな部活動にチャレンジしており、今回、生物部では琵琶湖に生息する様々な生物調査を実施しました。本来、この企画は5月末で終了する予定だったのですが、好評により琵琶湖での追加ロケが行われ放送回数が増えました。最終回には見事に生物調査の最終目標である「ピワコオオナマズ」も発見されました。自然豊かな琵琶湖を全国に発信し、再認識していただける番組でした。何よりも県下でロケが行われた各地の自治会をはじめ漁業協同組合、観光協会の皆さんが協力的で大変お世話になりました。

この番組で琵琶湖をPRできたことだけでなく、制作スタッフの皆さんに滋賀県人の「心の温もり」を感じ取ってもらえたことも大きな成果でした。



歴史秘話ヒストリア

平成22年7月28日(水)にNHK総合で放送されました。テーマは「みんなで幸せになろう! ~決戦! 関ヶ原 石田三成の一途な戦い~」。

ロケ地は仰木の田んぼ(大津市)、山中牧場・古橋の山林(長浜市)。撮影に使われた仰木の田んぼ、実は当オフィススタッフの所有です。田植えが終わって水が張られ、短い稲が均等に並び始めた田んぼに三成の恰好をした役者さんが立つと一気に戦国へタイムスリップ!! 不思議な感覚でした。

ロケ終了後、自家製の米でつくった「ぼたもち」を差し入れました。ところで「ぼたもち」と「おはぎ」の違いをみなさんご存じですか? 農作業の文化から生まれた名称で、田植え作業の合間に食べるのが「ぼたもち」(牡丹が咲く季節だから)、稲刈り作業の合間に食べるのが「おはぎ」(萩が咲く季節だから)です。そんな話もしながら、現代農業をロケ隊のみなさんに体験してもらいました。



『SP』二部作に! 滋賀県でのロケは来年春の「革命編」で放映!



映画『SP THE MOTION PICTURE』の制作会見が先の4月19日に行われ、その中で第一部「野望編」が今年の10月30日より、第二部「革命編」が来春公開という二部作であることが正式発表されました。今年2月後半に一週間に渡って滋賀県庁・滋賀会館でロケされた映像は第二部「革命編」として来年春に全国放

映されることになりました。

滋賀県ロケの「革命編」の概要は今年の秋に明らかにされますが、アクションシーンのほとんどが滋賀県庁地下通路で撮影されたものです。このオフィスニュースでも「SP」特集を組み、滋賀県庁・滋賀会館でのロケの詳細をレポートします。皆さん来年春の公開をお楽しみに!

Information

ロケ地マップ 「あの映画の 名場面を訪ねる」を 発行しました



「カムイ外伝」「憑神」「たそがれ清兵衛」「火天の城」、あの映画の名場面は実は滋賀県で撮影されていました。秋の観光シーズン、名作のロケ地となったスポットへお出かけしませんか。事務局までご連絡いただければお送りします。

まだまだあった!

滋賀のロケ地

これまであまり撮影されていないロケーションは県内にまだまだあります。今号から連載で紹介していきます。

草津市・草津宿本陣

草津宿は東海道と中山道が分岐・合流する交通の要衝で、東海道五十三次の江戸から52番目の宿場。草津宿の本陣の一つであった田中七左衛門本陣は、昭和24年に史跡草津宿本陣の名称により国の史跡に指定され、現在も旧東海道随一の本陣として宿場町草津のシンボルとなっています。江戸時代の時代劇にぴったりのロケーションです。



Present

今号巻頭ページで紹介している映画「大奥」オリジナルグッズのクリアファイルを、宣伝担当のアスマック・エース エンタテインメント(株)さんからいただきました。ご応募いただいた方の中から抽選で5名の方にプレゼントいたします。

応募先：〒520-8577

大津市京町4-1-1 滋賀県商工観光労働部観光交流局内
滋賀ロケーションオフィスあて

応募方法：官製はがきに①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢をお書きの上、応募先まで郵送してください。官製はがきのみのお受け取りとさせていただきます。



「大奥」オリジナルクリアファイル 5名様

協賛企業一覧

私たちは、滋賀の素晴らしい風景や文化などを全国に紹介するため、滋賀ロケーションオフィスの活動を支援しています。

(H22年度協賛企業 敬称略・順不同)

滋賀県興行協会 滋賀県信用保証協会 びわ湖放送(株) (株)滋賀銀行 (株)関西アーバン銀行 NTT西日本滋賀支店 琵琶湖汽船(株) 大津プリンスホテル (株)琵琶湖グランドホテル ひこねステーションホテル 北びわこホテルグラツィエ 白浜荘 長浜ロイヤルホテル (株)TMオフィス 宮川印刷(株) (株)中央精工滋賀支店 (株)井筒屋 ランチサービスポポロ (株)南洋軒 (株)大門 (株)トヨタレンタリース滋賀 滋賀建機(株) 光交通(株)



サポーターは楽しい!

私がサポーター登録したのは平成16年。2年前に他界した私の親父は大の映画好きで、京都に住んでいた少年時代には、毎日のように東映・大映・松竹の撮影所に遊びに行った思い出話をよくしてくれました。今、息子の私がサポーターとしてエキストラ出演していることは、少しでも親父への回向になっているのかもしれない。

平成17年に「狩矢警部シリーズ」のロケに初参加。撮影現場の楽しさと真剣さにとっても感動し、サポーターというものはまってしまいました。その後、仕事の合間を縫って多くの作品に参加させていただき、私の「宝の思い出」を残すことができました。NHK大河ドラマ「功名が辻」では、空からシャワーを浴びての雨のシーン、頭上からヘリコプターで撮影する行軍のシーンなど様々な撮影方法を知り驚くばかりでした。いよいよ始まる「江〜姫たちの戦国〜」にもぜひ参加したいと思っています。

同じ趣味と志の仲間が集まり、多くの友人ができました。これからも滋賀県の豊かな自然や文化に触れ、皆さんとともに本県のPRのために少しでもお役に立てれば幸いです。制作スタッフ・滋賀ロケの皆さんのご健勝を祈っております。これからもよろしくお願ひします。

滋賀ロケ・サポーター 勝西 敬一



編集後記

4月からこの職場に変わってきては半年。右も左もわからぬままいきなりフルアクセル。監督やスタッフの方をロケ候補地に案内するロケハン。これは、制作者の意向を事前に聞いてイメージに合うと思われる候補地を案内するのですが、初めて1人で案内した時はもうドキドキ。果たして監督のイメージどおりだったのか、こんなところを案内してもらって時間のムダだと思われたのか。しかし「なかなかいいねえ」と言ってもらって、心の中で大きくガッツポーズ。でもまだまだ安心できません。撮影が実際に行われて、ロケ地をPRし、観光振興や地域振興、経済振興につなげていくのが本来の目的です。そこがなかなか難しいところですが、百戦錬磨の上司に日々鍛えていただきながらテクニックを学んでいるところです。

今後ともサポーターや地域の皆さんに助けをいただきながら、映像を通じて滋賀を大いに盛り上げていきたいと思っていますので、厳しく、優しく?ご指導をお願いします!! (滋賀LOスタッフ O.H)